ひなぎくの森 **sawori

松山店長は憧れの人。

幼い私にあれこれと音楽を教えてくれた。初めはビートルズ。今思えば、成長に合わせて音楽を選んでいてくれた気がする。小学生の私が Radiohead を手に取った時、「んー、ひなちゃんにはまだ早いかなあ、それ。」と言ったけど、中学生では止めなかった。私が中学生になった時、店長はリコンした。その頃の店長はサイモン&ガーファンクルばっかり聴いていた。これしか聴けないんだって言っていた。

「ひなちゃんに言ってもしょうがないけど、人生は一度きりしかなくて、とても短い。だから好きなことに費やしたいんだ。奥さんのことだって大好きだったけど、奥さんが好きじゃないならしょうがない。奥さんの人生は奥さんのものだから。」

店長の奥さんは、店長が脱サラしてレコード店を始めたことをずーっとよく 思っていなかった。

「てんちょーは強引さが足りないんだよ。黙って俺についてこい! くらいの男らしさを求めてるんだよ、奥さんは」

「あはは!ひなちゃん、ゆうね~」店長は私の頭をポンポンと叩くと、あの忘れられない言葉をくれた。

「愛が全てだから。ジョンも言ってたろ?この世の全ての生き物が愛を必要としてる。奥さんはまた愛を見つけるといい。俺もまた愛する人を探すよ。」わたし!わたし!わたしがいるよ、てんちょー!って心に思ったまま、現在(23歳)に至るのです。

「店長、クリスマスって・・・」

「もちろん!今年もやるよ~クリスマスセールっ!」

「・・・ですよね~、もちろん私も出勤しますよ!」

「ただ、今年加瀬がライブで出れないんで人が足りなくてさ~、ひなぽんとこのフランソワ?あの子バイトできないかな~?」

「え?フランソワですか?確か予定は無いって言ってたような・・・」

フランソワがエバグリでバイト!?次号へ続く・・・

* ひなぎくの森のカルチャーその5 * サイモン& ガーファンクルとビートルズ



サイモン&ガーファンクル

主に 1960 年代に活躍した、ユダヤ 系アメリカ人のポール・サイモンと アート・ガーファンクルによる フォーク・デュオ。

奥さんとリコンした松山店長が落ち 込んでいた時、これしか聴けなく なったという「サイモン&ガーファ ンクル」。エバグリでもこればっか りかかっていたそうな。

The Beatles / All you need is love

There's nothing you can know that isn't known Nothing you can see that isn't shown

There's nowhere you can be that isn't where you're meant to be

ll you need is love, all you need is love
All you need is love, love is all you need
Love is all you need

エバグリ松山店長の心の一曲。1967年リリースのビートルズの名曲。



(前回までのあらすじ) フランス人留学生フランソワと、レコード店員ひなぎくのカルチャー交流記。ひなぎくにクリスマスの予定を聞くもフられるフランソワ。前回登場のレコード店 evergreen house(通称エバグリ)店長松山はひなぎくの憧れの人だった?早くもフランソワのライバル登場で揺れるひなぎくの森です笑

sawori